

就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議幹事会（令和7年度第2回）

議事要旨

開催日時：2025（令和7）年12月17日（水）16:00～17:00

場 所：中央合同庁舎第8号館特別中会議室

出席者：議長	成松 英範	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
構成員	三木 文平	内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
同	春山 浩康	文部科学省高等教育局学生支援課長
同	今野 憲太郎	厚生労働省人材開発統括官付参事官（若年者・キャリア形成支援担当参事官室長）
同	今里 和之	経済産業省経済産業政策局産業人材課長
関係者	伊藤 公平	就職問題懇談会座長
同	新田 秀司	一般社団法人日本経済団体連合会労働政策本部長
同	酒向 里枝	一般社団法人日本経済団体連合会教育・自然保護本部長
同	大下 英和	日本商工会議所産業政策第二部長

【議題】

2027年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程等に関する考え方（案）について

【議事概要】

○今回の内容は、これまでと異なったフォーマットで取りまとめられ、就職・採用活動の現状についてアンケート等を使って分析し、また企業が置かれている厳しい現状についても紹介されている。その上で、「実効性ある合意点を丁寧に探りながら見直しの検討を進める」と明記されたことについて、今後の見直しが有意義なものになっていくことを期待。

○今回の「考え方」では就職・採用活動の実態と課題がよく整理・まとめられているが、結局は、現状維持となっている。これまでのような建設的な議論をこれからも続けていき、就職・採用活動の適正化を通じて、日本全体が良くなるためにはどうすればいいのかということを連絡会議で引き続き考えたい。

○現行の日程ルールが形骸化しているというのはそのとおりだと思うが、一方で、企業、学校、学生の3者が完全に満足するような新たなルールは現実的にはなかなか難しい。どうしても日程にフォーカスしがちだが、今の就職・採用活動の実態の中で、どこに本当に問題があって、どこがそれを解消し得るのかというところを議論した方がよいのではないかな。